



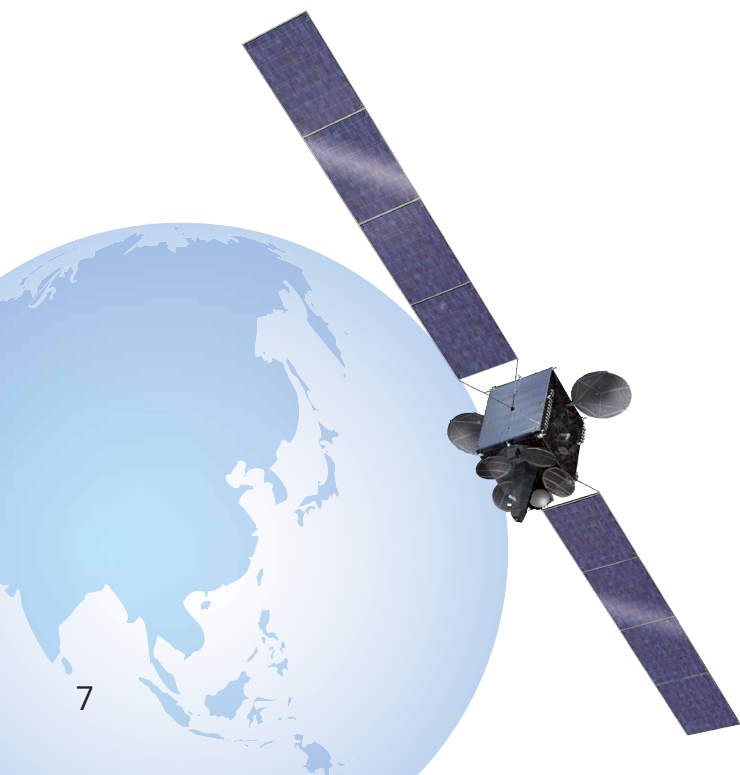
# 宇宙・衛星事業

## Space & Satellite Business

企業・官公庁を中心とした災害対策・BCP(事業継続計画)向けソリューションや移動体衛星通信ビジネスを伸ばすとともに、グローバル市場での飛躍を目指す施策を推進しています。

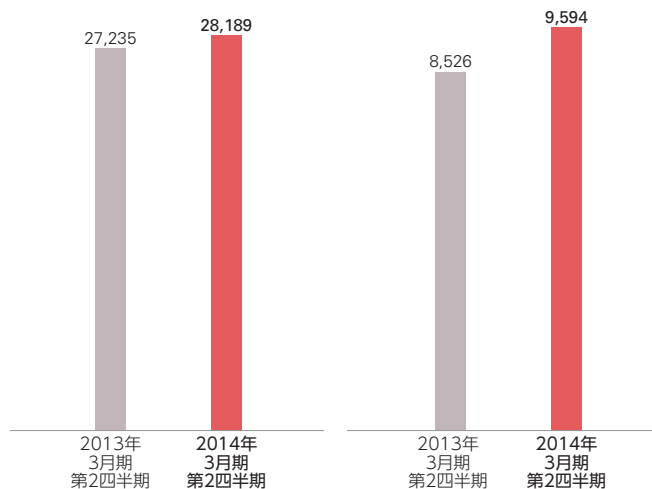
当第2四半期における宇宙・衛星事業の営業収益は、国際サービス関連収入の拡大等により、前年同期比3.5%増の28,189百万円となりました。一方で減価償却費が減少し、営業利益は12.5%増の9,594百万円となりました。

国内では、災害対策・BCP向けに衛星通信需要が拡大しており、「EsBird」や「ExBird」等の衛星ソリューションサービスの積極的な営業を展開しました。そうした中、2013年9月、自治体衛星通信機構の管制局設備更新を受注しました。本件で



営業収益  
(百万円)

営業損益  
(百万円)





は、山口県にある主局と北海道にある副局の管制局設備を更新することが決まり、2015年度の運用開始に向けて整備する予定です。

移動体衛星通信ビジネスでは、船舶向けインターネット接続サービス「OceanBB」や米国Panasonic Avionics社が提供している航空機内ネット接続サービス「eXConnect」で当社の衛星回線利用が伸長しました。

海外衛星ビジネスにおいては、アジアを中心とするグローバル市場への拡大を積極的に推進する中、2012年5月に打ち上げに成功したJCSAT-4Bの衛星回線を利用して、2013年9月にインドネシアの大手財閥LIPPOグループが同国内向けの衛星放送「BiG TV」を開始しました。また、米国政府機関による当社Superbird-C2のトランスポンダ(衛星中継器)利用も拡大しました。

## 「平成25年度宇宙開発利用大賞 防衛大臣賞」を受賞

2013年1月、スカパーJSAT(株)、日本電気(株)およびNTTコミュニケーションズ(株)が出資して設立した特別目的会社が、防衛省と「Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業」に係る契約を締結しました。この特別目的会社の代表企業として、宇宙開発利用大賞の防衛大臣賞を受賞しました。宇宙開発利用大賞は、今年新設されたもので、宇宙基本計画における「利用の拡大」を促すため、宇宙開発利用の推進に貢献した事案として表彰されるものです。



宇宙開発利用の  
推進に貢献